

# 秋の夜長の

# 室内楽

パリ管首席  
クラリネット奏者  
フィリップ・ベローと  
ヨーロッパで活躍する  
名手2人の響宴

Philippe Berrod

フィリップ・ベロー [クラリネット]

## Program

C. M. v. ウェーバー: コンチェルティーノ 作品26

C. M. v. Weber: Concertino, Op. 26 [Cl, Pf]

F. プーランク: クラリネットソナタ

F. Poulenc: Clarinet Sonata [Cl, Pf]

D. ショスタコーヴィチ: チェロソナタ 二短調 作品40

D. Shostakovich: Cello Sonata in D Minor, Op. 40 [Vc, Pf]

J. ブラームス: クラリネット三重奏曲 イ短調 作品114

J. Brahms: Trio for Piano, Clarinet and Cello in A Minor, Op. 114 [Cl, Vc, Pf]

photo / marc Rouvé

2022

10.25 火

トッパンホール

19:00開演(18:30開場)

全席指定

[一般] ¥4,500(税込)

[学生] ¥2,500(税込)

※出演者、曲目、曲順等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。  
※未就学児の入場はご遠慮ください。  
※感染対策についてwebをご確認ください。



Aki Kuroda

黒田 亜樹 [ピアノ]



Marumo Sasaki

マルモ・ササキ [チェロ]

©atsushi yamaguchi

チケット 》 【トッパンホールチケットセンター】 03-5840-2222(10:00~18:00 土日祝休) toppanhall.com

取扱い 》 【チケットぴあ】 t.pia.jp (Pコード:221-194) 【イープラス】 eplus.jp

【協賛】野中貿易株式会社 【後援】一般社団法人日本クラリネット協会 【主催・お問合せ】オーパス・ワン 03-5577-2072(10:00~17:00 土日祝休) info@opus-one.jp

AFF2  
ARTS for the future! 2



# Philippe Berrod

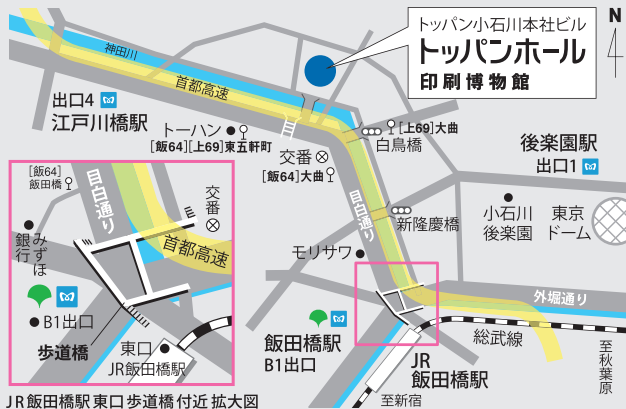
Clarinet

フィリップ・ベロー [クラリネット]

©Orchestre de Paris

## 柔らかな音色と機知に富む表現 パリ管弦楽団首席奏者

1995年よりパリ管弦楽団の首席奏者を務める。1987年、パリ国立高等音楽院にて満場一致の一等賞を獲得。パリ、ランス、トラパニなどの国際コンクールや、ユーディ・メニューイン財団、フランス文化省賞、SACEM賞など、受賞多数。幅広いコンチェルトレパートリーを持ち、ブルターニュ管弦楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団との共演をはじめ、バイエルン放送交響楽団、マラー室内管弦楽団などヨーロッパ各地の楽団へ定期的に招かれるほか、パリ管弦楽団とのアテネ公演、メキシコ国立交響楽団とのメキシコ公演、ダーバン交響楽団との南アフリカ公演、サヴォア地方管弦楽団とのモスクワ公演、ミンスク・フィルハーモニー管弦楽団とのベラルーシ公演など、世界各地でソリストとして演奏している。2011年よりパリ国立高等音楽院の教授を務め、また、ブラドのパブロ・カザルス音楽祭、ナンシー夏期国際音楽アカデミー、ポルトガル、スペイン、フィンランド、デンマーク、ロシア、中国、韓国、アメリカ、南米、日本など、世界各地で多くのマスタークラスを行っている。IRCAM(フランス国立音響音楽研究所)とのコラボレーションで、ピエール・ブレーズのクラリネットと電子音響のための作品「二重の影の対話(Dialogue de l'ombre double)」を、ブラジル、アルゼンチン、ベルリン・コンツェルトハウスにおけるブレーズの祝典コンサート、ポンピドゥー・センター、ポーランドのアゴラ音楽祭、ロサンゼルスで演奏。O.メシアン、P.ブレーズ、L.ベリオ、K.ペンデレツキ、E.デニソフ、P.デュサパン、P.マヌリ他、多数の現代作曲家とコラボレーションを行っている。様々なアンサンブルと独自のプロジェクトにも取り組んでおり、シルバ・オクテットとは、3つのアルバムをリリースし、フランス3(フランス・テレビジョン)への映像作品も制作した。ジャン・フランソワ・ジジェルの即興セッションにもたびたび招かれるなど、意欲的な活動を続けている。



### 交通のご案内

- 江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
  - 飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
  - 後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
  - 都営バス [上69][飯64][大曲]または「東五軒町」下車徒歩約3分
- ※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トップパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515  
www.toppanhall.com

# Marumo Sasaki

Cello

マルモ・ササキ [チェロ]



©atsushi yamaguchi

## 溢れる歌心…アジア人初!

## バレンボイム率いるベルリン国立歌劇場管に 永久正団員として在籍

音楽家の両親と共に4歳でイタリアに渡る。パドヴァ国立音楽院チェロ科首席卒業。ローザンヌ音楽院ヴィルトゥオーソクラスを一等賞及び名誉賞を得て卒業。その後、ベルリン国立芸術大学大学院ソリストクラス修了。これまでに、林峰男、W.ベットヒャー、D.ゲリンガスなどに師事。ジェノヴァ国際チェロ・コンクール、アスペッタルティ国際音楽コンクール他、多数優勝。チャック・ディ・チェント・コンクール優勝、併せて報道特別賞を受賞。ローザンヌ室内管弦楽団、バーデン＝バーデン・フィルハーモニー管弦楽団等のソリストとして協演、「サイクロンのように激しくダイナミックな演奏…多彩な音色…」“サン＝サーンスのコンチェルトを素晴らしい輝きを持って演奏した”と評される。L.バーンスタイン創立のシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭管弦楽団首席チェロ奏者、父と姉妹で結成された「パドヴァ・トリオ」、ベルリン・フィルハーモニー・ホールでの室内楽演奏、アメリカ、モロッコツアーなどで活動。ベルリン国立歌劇場管弦楽団(音楽監督 D.バレンボイム)に初のアジア人・永久正団員として在籍し、フォアシュペラーも務めた。ソロCD「チェロベラへ歌劇場の思い出」をリリースし好評を得る。その他、P.ラクイダラ(伊)のアルバム「Para voce querido Cae」、姫神制作:白山 開山1300年祭記念「組曲白山」CD作成、「富士の星暦 サウンドトラック」レコーディングに参加。「東京・春・音楽祭」、「コバケンとその仲間たちオーケストラ」(客演首席奏者)など、ソロ及び室内楽奏者として世界各地で幅広い演奏活動を行っている。



# Aki Kuroda

Piano

黒田 亜樹 [ピアノ]

## 聴き手を虜にする柔軟でユニークな感性…

## ミラノ在住、ジャンルを超えたマルチピアニスト

東京藝術大学卒業後、イタリア・ペスカラ音楽院高等課程を最高位修了。フランス音楽コンクール優勝。ジローナ20世紀音楽コンクール現代作品特別賞受賞。現代音楽演奏コンクール優勝、朝日現代音楽賞受賞。卓越した技術と鋭い感性は作曲家からの信頼も高く、「ISCM世界音楽の日々」「現代の音楽展」「サントリーサマーフェスティバル」「B→Cパッサハからコンテンポラリーへ」など、主要な現代音楽演奏会にて内外作品の初演を多数手がける。室内楽奏者としても内外の共演者からの信頼は厚く、特にクラリネット奏者のA.カルボナーレとは20年以上に渡ってCD、ラジオ、テレビ等でも共演を重ねている。2013年バンドネオン奏者の小松亮太とともにピアソラ作曲オペラ『エノスアイレスのマリア』を、ピアソラ元夫人で歌手のアメリカ・パタールを迎え完全上演し話題を呼んだ。国外ではサルデーニャのSpazio Musica現代音楽祭でプソッティ作品の初演、パルマのレゾジョ劇場でキース・エマーソンの代表作「タルカス」を現代作品として蘇演、シチリアのエトネ音楽祭出演などイタリアを中心に活動。2014年アメリカのオドラデクレールより「火の鳥」〜20世紀音楽ピアノのための編曲集リリース。イギリスBBCミュージックマガジンで5つ星を獲得、レコード芸術誌特選盤となる。「東京現音計画」メンバーとしてサントリー芸術財団第13回佐治敬三賞(2013年度)受賞。ピアノ演奏法の優れた教師としても知られ、国際コンクールの上位入賞者を多数輩出している。元ペスカラ音楽院教授、2022年秋よりリット国際アカデミー教授。